



レニーと学ぼう!

ミニメド™700シリーズ
インスリンポンプサークル

Insulin pump Circle

CGM編

No. 7

「センサグルコース値と血糖値の差が大きくなならないよう、上手な付き合い方を確認しましょう」の巻



Q

なぜ、センサグルコース値と血糖値の差が大きくなってしまふことがあるの？



A

較正のタイミングや方法、センサの留置状態が適切でないことが主な原因なんじゃ。センサグルコース値が血糖値と近い値になるよう、日頃から較正や血糖自己測定、センサの留置状態を確認することが重要なんじゃよ!

3つのポイント:センサグルコース値と血糖値が近い値になるために

① 較正のタイミングは適切だったか

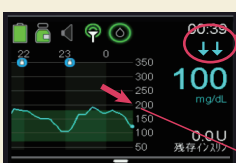
血糖が安定しているか確認しましょう

最適なタイミング

○ 食前、眠前など、血糖が安定している場合

適さないタイミング

- × トレンド矢印が2本以上表示されている場合
- × 食事中または食後に激しく血糖が変動している場合
- × 激しい運動中や運動後に激しく血糖が変動している場合
- × インスリン投与直後



トレンド矢印が2本以上表示されている

血糖変動が激しい状態



② 血糖自己測定は正しく行ったか

較正用の血糖値が適切であるか確認しましょう

- 測定部位は正しかったか
- 測定部位は消毒し、清潔だったか
- チップは有効期限内だったか
- 血糖値はすぐにポンプに入力したか



③ 装着部位/接続部の状態は確認したか

適切な留置状態であるか確認しましょう

- センサはしっかりと留置されているか
- センサとトランスミッタの接続部はしっかりと接続されているか
- センサの装着部位に出血はないか



センサグルコース値と血糖値が近い値になるために
較正のタイミングや方法、センサの留置状態を日頃から
確認することが大切なんじゃよ!



Check point!



- ・ センサグルコース値が急激に上昇したり低下したりする場合は較正を避け、血糖自己測定やセンサの装着を正しく行ってください。
- ・ センサ装着時は、センサ装着部位の出欠にも注意し、出血がある場合には適切に対処してください。出血に関して主治医から指示がある場合には、それに従ってください。

センサグルコース値と血糖値の差が大きいと感じた場合の対応方法

※システムはセンサの測定状況をモニターし、必要に応じ、予定されている較正期限よりも短いタイミングで要較正アラートを発生させることがあります。ポンプのアラートの指示に従い、正しく較正を行ってください。



- 1 センサがしっかりと皮下に装着できているか確認する
※センサが抜けている場合は交換して下さい。
- 2 適切な方法で再度血糖自己測定を行う
チェックポイント 適切な測定部位
 手を洗い、測定部位は消毒し、清潔に
 有効期限内のチップ

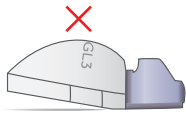
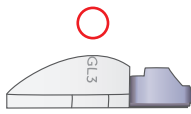
↓ 再測定しても、差が大きいとき

- 3 1時間以上待つて再度適切なタイミングと方法で較正し、センサによる測定を続ける
- | | |
|--|---|
| 適切なタイミング
チェックポイント <input type="checkbox"/> 血糖が安定しているタイミング
<input type="checkbox"/> トレンド矢印が2本以上出していない
<input type="checkbox"/> 激しい運動後や投薬後ではない | 適切な較正方法
チェックポイント <input type="checkbox"/> 適切な測定部位
<input type="checkbox"/> 手を洗い、測定部位は消毒し、清潔に
<input type="checkbox"/> 有効期限内のチップ
<input type="checkbox"/> 血糖値をすぐにポンプに入力 |
|--|---|

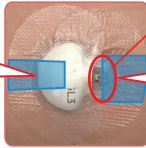
センサグルコース値と血糖値の差が大きくなるように、センサ装着方法を確認しましょう

- 1 装着を避ける部位に装着しないように注意する
 - ・皮下にしこりがある(かたくなった)部位
 - ・インスリン注入部位から2.5cm以内の部位
 - ・締め付けられる部位
 - ・激しく動くことの多い部位
 - ・屈曲部位(座った時に入るお腹のシワの部位など)
 - ・前回の部位から2.5cm以内の部位
 - ・臍の周囲5.0cm以内の部位
- 2 サータの適切な使用方法を再度確認する
※詳しくは「はじめてみよう!!リアルタイムCGM」をご参照ください。

皮膚に密着させる  サータを皮膚に押しつけ過ぎない。	ボタンを押す  サータの両サイドのボタンを同時に押す。
--	---
- 3 センサとトランスミッタの接続はまっすぐに行ったことを確認する

	
---	---

オーバーテープが正しく貼れているか確認する

2枚目のテープ:トランスミッタの端と皮膚の両方を覆うように貼る		センサベース 1枚目のテープ:テープの幅広い部分(青枠)がセンサベースの半分を覆う。
---------------------------------	--	---

製品を安全にご使用いただくため、必ず電子添文とユーザガイドを併せてご確認ください。

日本メドトロニック株式会社

ダイアピーティス
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

medtronic.co.jp

販売名:メドトロニックミニメド700 シリーズ
医療機器承認番号:22500BZX00369000

販売名:メドトロニックガーディアンコネク
医療機器承認番号:22900BZX00321000

ポンプやリアルタイムCGMの使用方法、アラーム対処、ポンプアクセサリショップなどについてのご質問は、下記へご連絡ください

日本メドトロニック 24時間サポートライン **0120-56-32-56**

製品の使用方法やよくある質問などをご紹介します。

www.medtronic.com/minimed770g

パソコン、スマートフォンやタブレット端末からもアクセスできます。



ポンプアクセサリショップ
便利な商品を、ポンプの安全使用にお役立てください。
<https://shop-lenny-medtronic-jp.com/>

Club Lennyとハローレニー!に登録しましょう

ご希望の患者さんはClub Lenny(メール配信サービスなど)やハローレニー!(はじめてすぐの患者さん向け電話サポートサービス)にお申し込みいただくことが可能です。登録は必須ではありません。詳細はこちらをご参照ください。 www.medtronic.com/clublenny

